



Title	彙報
Citation	北方言語研究, 12
Issue Date	2022-03-20
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/84874">https://hdl.handle.net/2115/84874</a>
Type	other
File Information	17_Infomation.pdf



## ❧ 彙 報 ❧

日本北方言語学会 第4回大会（兼 国際シンポジウム）

日 時：2021年11月6日（土）・7日（日）  
会 場：北海道立北方民族博物館（+ オンライン）

### 【特別講演】

高 東昊（全北大学）「韓国の満洲ツングース語研究：第3世代の学者たちの業績を中心に」  
A.M. Певнов (ИЛИ РАН) “Палеоазиатские заимствования в тунгусо-маньчжурских языках”  
Ekaterina Gruzdeva (University of Helsinki) “On diversification of Nivkh varieties”  
Juha Janhunen (University of Helsinki) “Amuric hydronyms in Manchuria and the Puyo connection of Ghilyak”  
宮川 琢（ウラジオストク日本センター）「クラスヌィヤール村とウデヘ語ビキン方言の現在」

### 【研究発表】

アクマタリエワ・ジャクシルク（日本学術振興会／新潟大学）「キルギス語とアルタイ語における補助動詞 *čik-* の対照研究」  
日高 晋介（国立国語研究所）「ウズベク語における願望を表す三形式の使い分け」  
菱山 湧人（東京外国語大学大学院）「チュヴァシ語における比較接辞の異形態 *-rAx* と *-tArAx* の交替について」  
白 尚燁（室蘭工業大学）「地域言語学的観点から見たツングース諸語の定動詞直説法の時制体系」  
山崎 雅人（大阪市立大学）「アルタイ諸語と日本語における反実仮想文」  
風間伸次郎（東京外国語大学）「東北アジアの諸言語における証拠性に関する対照研究」  
植田 尚樹（北洋大学）「モンゴル語ハルハ方言の /ɣ/ の音声と音韻」  
ナムダグ・ハグバジヤブ（東京外国語大学大学院）「モンゴル語の副動詞接尾辞の反復」  
アルラ（東京外国語大学大学院）「保安語（ボウナン語）における *si* について」  
阪口 諒（日本学術振興会／千葉大学大学院）「アイヌ語樺太方言における動詞の複数形と複数標識 *ahci* —出来事内部／外部の複数性という観点からの分析—」  
長崎 郁（名古屋大学）「コリマ・ユカギール語の「迂言的過去」」  
Izumi Ochiai (Muroran Institute of Technology) “A reconstruction of “cold” in Atayalic languages”

### 【総 会】

- ・役員（2022～2023年度） 会長：堀博文（2021年11月より）、事務局長：江畑冬生、幹事：呉人恵、児倉徳和
  - ・「津曲敏郎賞」の創設
- [報告] 会員数 76 名（2021年11月6日現在）

### 日本北方言語学会 入 会 案 内

- ①年会費：当面徴収しない
- ②入会資格：北方言語研究に関心を持ち、本会の趣旨に賛同される方。ただし、北方言語に関する研究業績を2本以上公刊していること、あるいは、会員または指導教員等の推薦があること。
- ③活動内容
  - ・研究会および国際シンポジウム等の開催
  - ・学会誌『北方言語研究』の刊行（投稿は会員に限る）と会員への無償配布
  - ・学会 HP および会員 ML による情報交換
- ④入会申込：以下について下記事務局あてにメールで通知（随時受付）
  - ・氏名
  - ・所属
  - ・送付物受領用住所
  - ・e メールアドレス
  - ・研究業績（2点）または推薦者（氏名/e メールアドレス）
- ⑤事務局：江畑冬生（新潟大学人文学部） [hoppouengo-owner@googlegroups.com](mailto:hoppouengo-owner@googlegroups.com)